

表6. 地域保健医療基礎統計の統計指標 (2003年)

統計調査	統計指標	分類内容	地域区分
医療施設調査 2002年	医療施設数	施設の書類	都道府県・大都市・中核市
	病床数	施設の書類・病床の種類	都道府県・大都市・中核市
	人口当たり施設数・病床数	施設の書類・病床の種類	都道府県・大都市・中核市
	医療施設数・病床数	施設の書類・病床の種類	二次医療圏
	病院数・台数	診療機器	都道府県・大都市・中核市
	一般診療所数・台数	診療機器	都道府県・大都市・中核市
	病院数・病床数	特殊診療設備	都道府県・大都市・中核市
	病院数	理学療法室等	都道府県・大都市・中核市
	病院数・実施件数	手術等	都道府県・大都市・中核市
	一般診療所数・実施件数	手術等	都道府県・大都市・中核市
	病院数・実施件数	在宅医療サービス等	二次医療圏
	一般診療所数・実施件数	在宅医療サービス	二次医療圏
	病院数・一般診療所数	救急医療体制等	都道府県・大都市・中核市
病院報告 2002年	病院の1日平均患者数等	在院・新入院・退院・外来	都道府県・大都市・中核市
	病院の病床利用率	病床の種類	都道府県・大都市・中核市
	病院の平均在院日数	病床の種類	都道府県・大都市・中核市
	病院の1日平均患者数等		二次医療圏
患者調査 2002年	推計患者数	性・年齢階級・施設の書類	都道府県 (患者住所地)
	受療率	傷病分類・施設の書類	都道府県 (患者住所地)
	病院の推計入院患者数	圏内外	二次医療圏 (患者住所地)
	病院の推計入院患者数	圏内外	二次医療圏 (施設所在地)
	病院の推計入院患者数	性・年齢階級	二次医療圏 (患者住所地)
	病院の推計入院患者数	傷病分類	二次医療圏 (患者住所地)
	退院患者平均術前・術後日数	傷病分類	都道府県 (施設所在地)
	退院患者平均在院日数	傷病分類	都道府県 (患者住所地)
医師・歯科医師 ・薬剤師調査 2002年	人口当たり医師数	業務の種類	都道府県・大都市・中核市
	医師数	業務の種類	二次医療圏
	医療施設従事医師数	診療科名 (主たる)	都道府県・大都市・中核市
	医療施設従事医師数	診療科名 (複数回答)	都道府県・大都市・中核市
	人口当たり歯科医師数	業務の種類	都道府県・大都市・中核市
	歯科医師数	業務の種類	二次医療圏
	人口当たり薬剤師数	業務の種類	都道府県・大都市・中核市
衛生行政報告例 2002年度	就業保健師数	就業場所	都道府県
	就業助産師数	就業場所	都道府県
	就業看護師数	就業場所	都道府県
	就業准看護師数	就業場所	都道府県
	就業歯科衛生士数等	就業場所	都道府県
	人口当たり就業保健師数等		都道府県
	地域保健・ 老人保健 事業報告 2001年度	保健所の健康診断の人員	健康診断の種類
保健所の妊産婦保健指導人員			都道府県・大都市・中核市
保健所の歯科検診の人員		対象者の種類	都道府県・大都市・中核市
保健所の健康増進指導の人員		栄養・運動・休養・禁煙	都道府県・大都市・中核市
保健所の精神保健福祉相談人員			都道府県・大都市・中核市
保健所の難病相談等の人員			都道府県・大都市・中核市
健康手帳の交付		年齢階級	都道府県・大都市・中核市
個別健康教育の参加人員		教育内容	都道府県・大都市・中核市
集団健康教育の参加人員		教育内容	都道府県・大都市・中核市
基本健康診査の健康度評価人員		年齢階級	都道府県・大都市・中核市
訪問指導の被指導人員		年齢階級・指導内容	都道府県・大都市・中核市
基本健康診査・がん検診受診者数		年齢階級	都道府県・大都市・中核市

表 7. 地域保健医療基礎統計の統計指標 (2004年)

統計調査	統計指標	分類内容	地域区分
医療施設調査 2003年	医療施設数	施設の書類	都道府県・大都市・中核市
	病床数	施設の書類・病床の種類	都道府県・大都市・中核市
	人口当たり施設数・病床数	施設の書類・病床の種類	都道府県・大都市・中核市
	医療施設数・病床数	施設の書類・病床の種類	二次医療圏
	医療施設数 病床数	施設の種類の開設者	都道府県・大都市・中核市
	一般病院数 (重複計上)	施設の種類の開設者 診療科目	都道府県・大都市・中核市
病院報告 2003年	1日平均患者数等	在院・新入院・退院・外来	都道府県・大都市・中核市
	病床利用率	病床の種類	都道府県・大都市・中核市
	平均在院日数	病床の種類	都道府県・大都市・中核市
	病床利用率・平均在院日数		二次医療圏
	従事者数	職種	都道府県・大都市・中核市
保健・衛生 行政業務報告 2003年度	精神障害者措置入院患者数等		都道府県・指定都市
	給食施設数	施設の種類の	都道府県・指定都市・中核市
	食品関係営業施設数	営業の種類	都道府県・指定都市・中核市
	人工妊娠中絶件数	年齢階級	都道府県
	環境衛生関係施設数 医薬品等営業届出施設数・薬局数	施設の種類の	都道府県・指定都市・中核市 都道府県
地域保健・ 老人保健 事業報告 2002年度	保健所の健康診断の人員	健康診断の種類	都道府県・大都市・中核市
	保健所の妊産婦保健指導人員		都道府県・大都市・中核市
	保健所の歯科検診の人員	対象者の種類	都道府県・大都市・中核市
	保健所の健康増進導の人員	対象区分	都道府県・大都市・中核市
	保健所の精神保健福祉相談人員		都道府県・大都市・中核市
	保健所の難病相談等の人員		都道府県・大都市・中核市
	個別健康教育の参加人員	教育内容	都道府県・大都市・中核市
	集団健康教育の参加人員	教育内容	都道府県・大都市・中核市
	健康相談の被指導人員		都道府県・大都市・中核市
	基本健康診査の健康度評価人員	年齢階級	都道府県・大都市・中核市
	訪問指導の被指導人員	年齢階級・指導内容	都道府県・大都市・中核市
基本健康診査・がん検診受診者数	年齢階級	都道府県・大都市・中核市	
国民医療費 1999年度	医療費		都道府県

表 8. 地域保健医療基礎統計の統計指標 (2005年)

統計調査	統計指標	分類内容	地域区分
医療施設調査 2004年	医療施設数	施設の書類	都道府県・大都市・中核市
	人口当たり施設数・病床数	施設の書類・病床の種類	都道府県・大都市・中核市
	医療施設数・病床数	施設の書類・病床の種類	二次医療圏
	医療施設数	施設の種類・開設者	都道府県・大都市・中核市
	一般病院数 (重複計上)	診療科目	都道府県・大都市・中核市
	病床数	施設の種類・病床の種類	都道府県・大都市・中核市
病院報告 2004年	病床数	施設の種類・開設者	都道府県・大都市・中核市
	1日平均患者数等	在院・新入院・退院・外来	都道府県・大都市・中核市
	病床利用率	病床の種類	都道府県・大都市・中核市
	平均在院日数	病床の種類	都道府県・大都市・中核市
	病床利用率・平均在院日数	職種	二次医療圏
医師・歯科医師 ・薬剤師調査 2004年	従事者数	都道府県・大都市・中核市	都道府県・大都市・中核市
	医師数	業務の種類別	都道府県
	医師数	業務の種類別	二次医療圏
	人口当たり医師数	業務の種類別	都道府県・大都市・中核市
	医療施設従事医師数	診療科名 (主たる)	都道府県・大都市・中核市
	医療施設従事医師数	診療科名 (複数回答)	都道府県・大都市・中核市
	歯科医師数	業務の種類別	都道府県
	歯科医師数	業務の種類別	二次医療圏
	人口当たり歯科医師数	業務の種類別	都道府県・大都市・中核市
	薬剤師数	業務の種類別	都道府県
	薬剤師数	業務の種類別	二次医療圏
地域保健・ 老人保健 事業報告 2003年度	人口当たり薬剤師数	業務の種類別	都道府県・大都市・中核市
	保健所の健康診断の人員	健康診断の種類	都道府県・大都市・中核市
	保健所の健康増進導の人員	対象区分	都道府県・大都市・中核市
	個別健康教育の参加人員	教育内容	都道府県・大都市・中核市
	集団健康教育の参加人員	教育内容	都道府県・大都市・中核市
	健康相談の被指導人員		都道府県・大都市・中核市
	基本健康診査の健康度評価人員	年齢階級	都道府県・大都市・中核市
	訪問指導の被指導人員	年齢階級・指導内容	都道府県・大都市・中核市
	基本健康診査・がん検診受診者数	年齢階級	都道府県・大都市・中核市
	保健所の妊産婦保健指導人員		都道府県・大都市・中核市
	保健所の精神保健福祉相談人員		都道府県・大都市・中核市
	保健所の歯科検診の人員	対象者の種類	都道府県・大都市・中核市
	保健所の難病相談等の人員		都道府県・大都市・中核市
保健・衛生 行政業務報告 2004年度	人工妊娠中絶件数	年齢階級	都道府県
	精神障害者措置入院患者数等		都道府県・指定都市
	難病医療受給者証所持者数	対象疾病・性	都道府県
	難病登録者証所持者数	対象疾病・性	都道府県
	給食施設数	施設の種類の種類	都道府県・指定都市・中核市
	食品関係営業施設数	営業の種類	都道府県・指定都市・中核市
	生活衛生関係施設数	施設の種類の種類	都道府県・指定都市・中核市
	医薬品等営業届出施設数・薬局数		都道府県

図1 都道府県別、電子カルテシステムの導入状況
(病院、2002年と2005年)

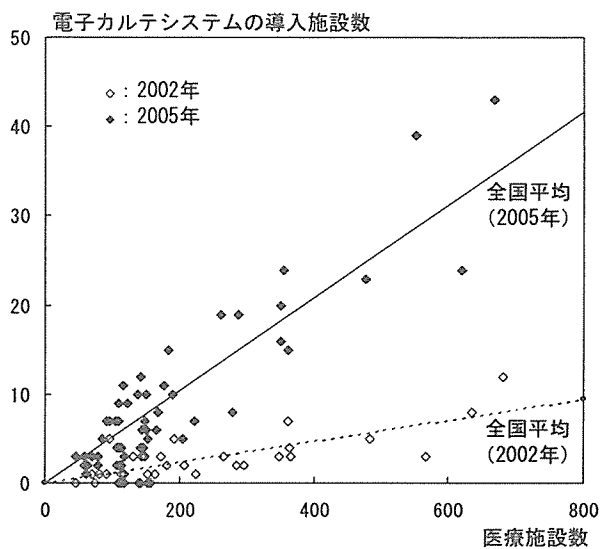


図2 都道府県別、電子カルテシステムの導入状況
(一般診療所、2002年と2005年)

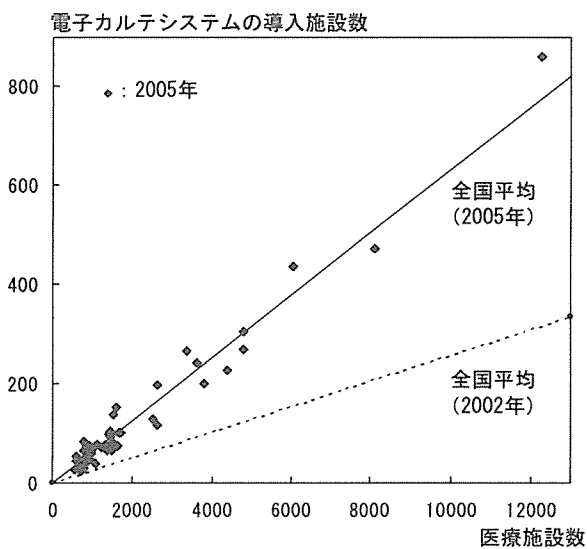


図3 都道府県別、ホームページの開設状況
(病院、2002年と2005年)

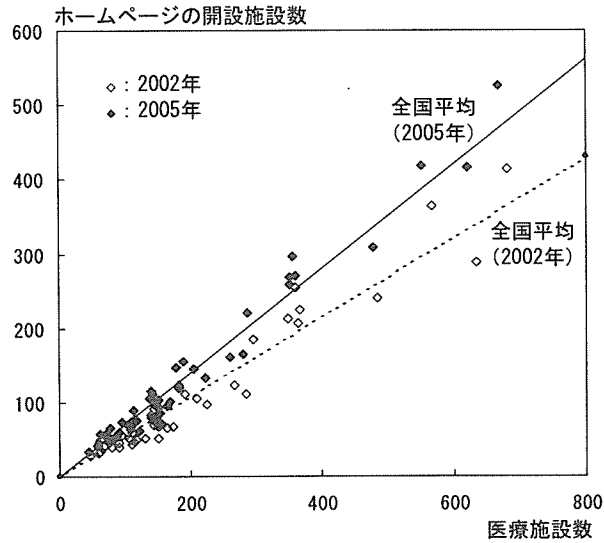


図4 都道府県別、ホームページの開設状況
(一般診療所、2002年と2005年)

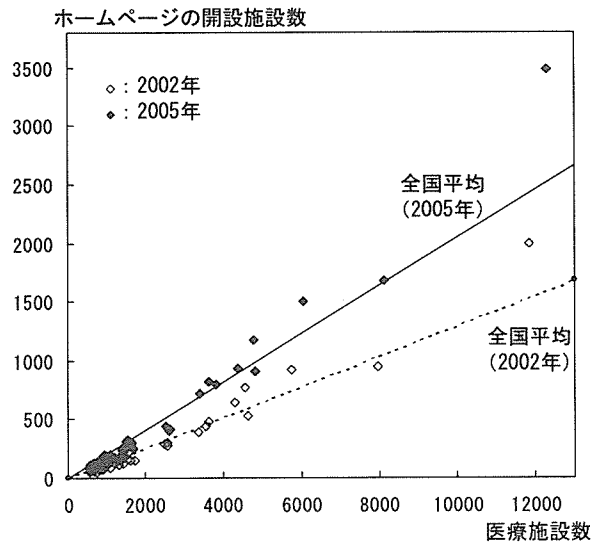


図5 都道府県別、ホームページの開設状況
 (病院、2002年と2005年)
 (200施設未満の都道府県に限定)

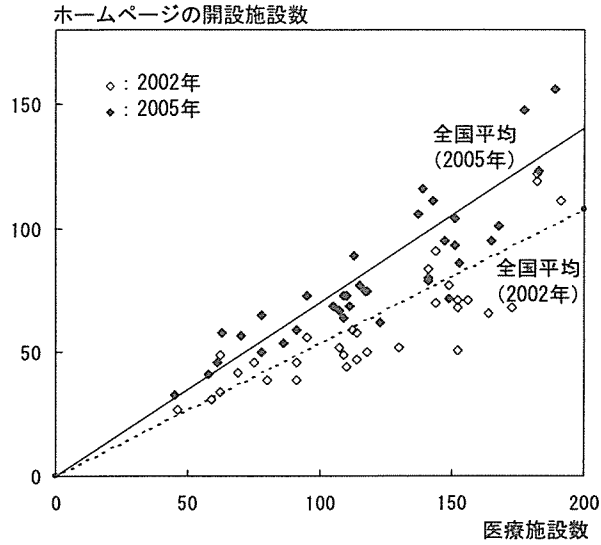
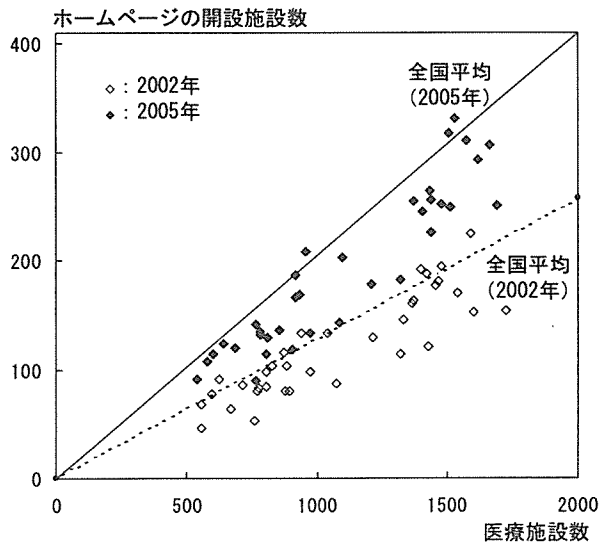


図6 都道府県別、ホームページの開設状況
 (一般診療所、2002年と2005年)
 (2000施設未満の都道府県に限定)



保健医療統計のグループ別地域指標化に関する研究
—統計指標による対策評価に関する基礎的検討—

分担研究者 橋本 修二 藤田保健衛生大学医学部衛生学教授
研究協力者 川戸 美由紀 藤田保健衛生大学医学部衛生学助手
世古 留美 藤田保健衛生大学衛生学部衛生看護学科助手
加藤 昌弘 豊橋市保健所所長

研究要旨 地域保健医療福祉の取り組みの評価にあたって、重要な統計指標を絞り込むための基礎的検討として、主要な保健医療福祉統計から、本研究班構成員による議論を通して統計指標の候補を選定した。統計指標の候補としては、母子保健、健康増進、疾病対策（生活習慣病）、疾病対策（感染症、結核、エイズ）、特定疾患・精神保健福祉・歯科保健、高齢者保健福祉、医療、その他の分野ごとに20個程度を示した。本統計指標の候補は今後の検討・確認を前提としたものであり、全国の地域保健関係者に対する「地域保健医療福祉の取り組みの評価における統計指標の利用に関する調査」でを使用することを想定している。また、対策評価へ使用する統計指標の検討として、年次推移や地域分布などの基礎的な特性をデータに基づいて観察する場合、本統計指標の候補はその検討対象の選定の参考になると考えられた。

A. 研究目的

保健医療福祉分野において、多種多様な対策と多種多様な統計調査が実施されている。多くの対策のあらゆる面を統計指標によって十分に評価できるわけではないが、これらの統計調査によって、基礎的な健康水準や対策実施状況がある程度把握されていることから、対策の評価に対して、統計指標の利用には大きな役割が期待される。

対策評価への利用にあたっては、統計指標の絞り込みが不可欠である。分担研究課題の「保健医療統計のグループ別地域指標化に関する研究」では、分野ごとに重要な統計指標の絞り込みを目指している。そのために、「同、一統計指標の利用に関する全国調査」と「同、一統計指標による対策評価に関する基礎的検討」の2つの検討を行った。

ここでは、統計指標による対策評価に関する基礎的検討の詳細を示す。昨年度は保健医療福祉の主要な統計について、主な情報内容を整理

した。本年度はその結果を利用して、地域保健医療福祉の取り組みの評価にあたって、母子保健、健康増進、医療などの分野ごとに重要な統計指標の候補を選定した。

なお、この統計指標の候補については、今後の検討・確認を前提としたものである。統計指標の利用に関する全国調査として、全国の地域保健関係者に対する「地域保健医療福祉の取り組みの評価における統計指標の利用に関する調査」において、とくに重要な統計指標を選定する候補にを使用することを想定している。その検討の詳細は、本研究報告書の「保健医療統計のグループ別地域指標化に関する研究—統計指標の利用に関する全国調査—」に示されている。

B. 研究方法

1. 資料

基礎資料としては、昨年度の研究結果から得た、統計調査とその調査内容のまとめ、主な統計調査と統計指標例（情報の地域区分を含む）

を用いた（「統計指標による保健医療福祉分野の対策評価に関する基礎的検討、平成17年度厚生労働科学研究費（統計情報高度利用総合研究事業）による統計情報を用い保健医療福祉分野ごとに施策評価について具体的に应用可能な指標パッケージの開発に関する研究班 平成17年度総括・分担研究報告書」を参照）。それ以外に、各種の統計調査の報告書を用いた。

2. 方法

保健医療福祉分野について、母子保健分野、健康増進分野、疾病対策分野（生活習慣病）などの7分野、および、その他の分野の8つに分類した（表1）。

各分野ごとに、その取り組みの評価にあたって重要と考えられる統計指標の候補を、主な保健医療福祉統計を総覧し、本研究班構成員による議論を通して、20個程度をめどに選定した。20個程度の統計指標には、できるだけ、実態を表すものと対策実施状況を表すものの両方を含めた。

主な保健医療福祉統計としては、昨年度の研究結果に基づいて、人口動態統計、患者調査、医療施設調査、国民生活基礎調査、地域保健・老人保健事業報告などの20統計とした（表2）。なお、地域別情報を含まない統計も検討対象に含めた。

C. 研究結果

地域保健医療福祉の取り組みの評価にあたって、重要と考えられる統計指標の候補を、分野ごとに表3～表10に示す。なお、本統計指標の候補は、地域保健関係者に対する全国調査において、とくに重要な統計指標を選定する候補に使用することを想定している。

表3に、母子保健分野における統計指標を示す。実態を表す統計指標として、人口動態統計から乳児死亡率と合計特殊出生率などを、衛生行政報告例から人工妊娠中絶実施率を選定した。対策実施状況を表す統計指標として、地域保健・老人保健事業報告から妊産婦健康診査受診人

員と乳幼児訪問指導人員などを、福祉行政報告例から児童相談所の相談処理件数を選定した。

表4に、健康増進分野における統計指標を示す。実態を表す統計指標として、国民生活基礎調査から自覚的健康観と喫煙習慣などを、国民健康・栄養調査から栄養摂取量と肥満者割合などを選定した。対策実施状況を表す統計指標として、地域保健・老人保健事業報告から個別健康教育実施人員と禁煙指導人員などを選定した。なお、国民健康・栄養調査には都道府県別の統計指標の値は含まれていない。

表5に、疾病対策分野（生活習慣病）における統計指標を示す。実態を表す統計指標として、人口動態統計から悪性新生物の死亡率などを、患者調査から高血圧の受療率などを、国民健康・栄養調査から糖尿病の有病率などを選定した。対策実施状況を表す統計指標として、地域保健・老人保健事業報告から基本健康診査の受診率などを、国民生活基礎調査から健康診断（職域を含む）の受診率などを選定した。

表6に、疾病対策分野（感染症、結核、エイズ）における統計指標を示す。感染症では地域保健・老人保健事業報告から麻疹などの予防接種率などを、結核では結核発生動向調査から結核の罹患率などを、エイズでは感染症発生動向調査からエイズの患者数などを選定した。

表7に、特定疾患、精神保健福祉、歯科保健分野における統計指標を示す。特定疾患では地域保健・老人保健事業報告から特定疾患医療受給証の所持者数などを、精神保健福祉では患者調査から精神障害の受療率などを、歯科保健では地域保健・老人保健事業報告から歯科健診・保健指導の受診人員などを選定した。

表8に、高齢者保健福祉分野における統計指標を示す。介護保険事業状況報告から介護保険の要介護認定者数などを、介護給付費実態調査から介護保険の居宅サービス利用者数などを、介護サービス施設・事業所調査から介護老人福祉施設の定員などを選定した。

表9に、医療分野における統計指標を示す。医療施設調査から診療科別の医療施設数などを、

医師・歯科医師・薬剤師調査から医師数を、患者調査から流入・流出患者数などを、病院報告から平均在院日数などを選定した。

表10に、その他の分野における統計指標を示す。衛生行政報告例から保健所・市区町村などの保健師数と給食施設への指導・監査件数などを、地域保健・老人保健事業報告から保健所での連絡調整会議の開催・参加回数などを、食中毒統計から食中毒件数を、それ以外のいくつかの統計から代表的な統計指標を選定した。

D. 考察

保健医療福祉の取り組みの評価にあたって、その取り組みに応じた統計指標を選定する必要がある。ただ、多くの取り組みには、共通する基本的な目標があると考えられる。また、保健医療福祉統計は、そのような取り組みや基本的目標を念頭において実施されていると考えられる。したがって、保健医療福祉の多くの取り組みの評価に共通して、基礎となる統計指標の絞り込みがある程度可能と考えられる。

ここでは、昨年度の研究結果から得た、主な保健医療福祉統計の代表的な統計指標の一覧を用いて、研究班構成員の議論を重ねることによって、保健医療福祉の取り組みの評価にあたって、重要な統計指標の候補を選定した。統計指標の選定は母子保健分野、健康増進分野、疾病対策分野（生活習慣病）などの8分野ごとに行ったが、これは、保健医療福祉分野がきわめて広い範囲であり、ある程度に細分類する必要があると考えたためである。

本研究で得られた統計指標の候補は、地域保健関係者に対する全国調査において、とくに重要な統計指標を選定する候補に使用することを想定したものである。保健医療福祉の取り組みの評価にあたって、本統計指標の候補は過不足や問題点などがあり、今後の検討・確認を通して、それらを軽減し、よりよいものにするを前提としている。また、保健医療福祉の取り組みの評価での統計指標の有用性をみるために

は、実際のデータに基づいて、統計指標の年次推移や地域分布などの基礎的な特性を検討することが重要と考えられる。そのような場合に、本統計指標の候補は参考になるものと考えられる（本研究報告書の「保健医療統計の年次比較および地域特性比較に関する研究」の3つの研究報告書を参照）。

E. 結論

地域保健医療福祉の取り組みの評価にあたって、重要な統計指標の候補として、母子保健、健康増進、疾病対策（生活習慣病）、疾病対策（感染症、結核、エイズ）、特定疾患・精神保健福祉・歯科保健、高齢者保健福祉、医療、その他の分野ごとに20個程度を示した。本統計指標の候補は今後の検討・確認を前提としたものであり、全国の地域保健関係者に対する「地域保健医療福祉の取り組みの評価における統計指標の利用に関する調査」で使用することを想定している。また、対策評価へ使用する統計指標の検討として、年次推移や地域分布などの基礎的な特性をデータに基づいて観察する場合、本統計指標の候補はその検討対象の選定の参考になると考えられた。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし。
2. 学会発表
なし。

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
なし。

表1. 統計指標を分類する分野

母子保健分野
健康増進分野
疾病対策分野（生活習慣病）
疾病対策分野（感染症、結核、エイズ）
特定疾患、精神保健福祉、歯科保健分野
高齢者保健福祉分野
医療分野
その他の分野

表2. 検討対象の保健医療福祉統計

人口動態統計
患者調査
受療行動調査
医療施設調査
病院報告
国民生活基礎調査
国民健康・栄養調査
地域保健・老人保健事業報告
衛生行政報告例
福祉行政報告例
医師・歯科医師・薬剤師調査
感染症発生動向調査
結核発生動向調査
介護サービス施設・事業所調査
介護給付費実態調査
介護保険事業状況報告
国民医療費
社会福祉施設等調査
身体障害児・者実態調査
知的障害児（者）基礎調査

表3. 母子保健分野における統計指標

統計指標	保健医療福祉統計
乳児死亡率	人口動態統計
新生児死亡率	人口動態統計
早期新生児死亡率	人口動態統計
自然死産率	人口動態統計
人工死産率	人口動態統計
周産期死亡率	人口動態統計
妊産婦死亡率	人口動態統計
合計特殊出生率	人口動態統計
低体重児割合	人口動態統計
人工妊娠中絶実施率	衛生行政報告例
妊娠届出数	地域保健・老人保健事業報告
妊産婦健康診査受診人員	地域保健・老人保健事業報告
乳幼児健康診査受診人員	地域保健・老人保健事業報告
妊産婦保健指導人員	地域保健・老人保健事業報告
乳幼児保健指導人員	地域保健・老人保健事業報告
妊産婦訪問指導人員	地域保健・老人保健事業報告
乳幼児訪問指導人員	地域保健・老人保健事業報告
療育指導人員	地域保健・老人保健事業報告
長期療養児相談指導人員	地域保健・老人保健事業報告
児童相談所の相談処理件数	福祉行政報告例

表4. 健康増進分野における統計指標

統計指標	保健医療福祉統計
自覚的健康感	国民生活基礎調査
悩み・ストレスの状況	国民生活基礎調査
栄養摂取量（食塩摂取量など）	国民健康・栄養調査
食習慣（欠食など）	国民健康・栄養調査
運動習慣	国民健康・栄養調査
休養の状況	国民健康・栄養調査
睡眠時間	国民健康・栄養調査
喫煙習慣	国民生活基礎調査
飲酒習慣	国民健康・栄養調査
肥満者割合	国民健康・栄養調査
健康手帳交付件数	地域保健・老人保健事業報告
個別健康教育実施人員	地域保健・老人保健事業報告
集団健康教育参加人員	地域保健・老人保健事業報告
健康相談指導人員	地域保健・老人保健事業報告
栄養指導人員	地域保健・老人保健事業報告
運動指導人員	地域保健・老人保健事業報告
休養指導人員	地域保健・老人保健事業報告
禁煙指導人員	地域保健・老人保健事業報告

表5. 疾病対策分野（生活習慣病）における統計指標

統計指標	保健医療福祉統計
悪性新生物の死亡率	人口動態統計
虚血性心疾患の死亡率	人口動態統計
脳血管疾患の死亡率	人口動態統計
高血圧の受療率	患者調査
糖尿病の受療率	患者調査
高脂血症の受療率	患者調査
悪性新生物の受療率	患者調査
虚血性心疾患の受療率	患者調査
脳血管疾患の受療率	患者調査
高血圧の有病率	国民健康・栄養調査
糖尿病の有病率	国民健康・栄養調査
基本健康診査の受診率	地域保健・老人保健事業報告
基本健康診査受診者の健康度評価事業実施割合	地域保健・老人保健事業報告
基本健康診査受診者の生活習慣改善指導割合	地域保健・老人保健事業報告
がん検診の受診率	地域保健・老人保健事業報告
がん検診の精密検査受診率	地域保健・老人保健事業報告
健康診断（職域を含む）の受診率	国民生活基礎調査
健康診断（職域を含む）の未受診理由	国民生活基礎調査

表6. 疾病対策分野（感染症、結核、エイズ）における統計指標

統計指標	保健医療福祉統計
腸管出血性大腸菌感染症の患者数	感染症発生動向調査
マラリアなどの4類感染症の患者数	感染症発生動向調査
インフルエンザなどの5類感染症の患者数	感染症発生動向調査
麻疹などの予防接種率	地域保健・老人保健事業報告
結核の死亡率	人口動態統計
結核の罹患率（新登録者数）	結核発生動向調査
結核の有病率（登録者数）	結核発生動向調査
結核健康診断の受診率	地域保健・老人保健事業報告
結核健康診断の新患者発見率	地域保健・老人保健事業報告
BCG接種率	地域保健・老人保健事業報告
結核予防の相談・訪問指導人員	地域保健・老人保健事業報告
エイズの患者数	感染症発生動向調査
エイズ相談件数	地域保健・老人保健事業報告
HIV検査件数	地域保健・老人保健事業報告

表 7. 特定疾患、精神保健福祉、歯科保健分野における統計指標

統計指標	保健医療福祉統計
特定疾患（難病）医療受給証の所持者数	地域保健・老人保健事業報告
特定疾患（難病）登録者証の所持者数	地域保健・老人保健事業報告
難病相談の指導人員	地域保健・老人保健事業報告
難病患者・家族の学習会の参加人員	地域保健・老人保健事業報告
精神障害の受療率	患者調査
精神障害者の申請通報届出件数	衛生行政報告例
精神障害者の医療保護入院届出数	衛生行政報告例
精神保健福祉の相談指導人員	地域保健・老人保健事業報告
精神保健福祉の訪問指導人員	地域保健・老人保健事業報告
精神保健福祉の普及啓発の参加人員	地域保健・老人保健事業報告
精神保健福祉センターの技術指導・援助件数	衛生行政報告例
歯科健診・保健指導の受診人員	地域保健・老人保健事業報告
歯科予防処置の受診人員	地域保健・老人保健事業報告
歯周疾患検診の受診率	地域保健・老人保健事業報告

表 8. 高齢者保健福祉分野における統計指標

統計指標	保健医療福祉統計
介護保険の第 1 号被保険者数	介護保険事業状況報告
介護保険の要介護認定者数	介護保険事業状況報告
介護保険の居宅サービス利用者数	介護給付費実態調査
介護保険の施設サービス利用者数	介護給付費実態調査
介護保険のサービス受給額	介護給付費実態調査
介護保険の居宅サービスの平均利用率	介護給付費実態調査
訪問看護サービス利用者数	介護給付費実態調査
通所介護サービス利用者数	介護給付費実態調査
通所リハビリテーション利用者数	介護給付費実態調査
短期入所生活介護サービス利用者数	介護給付費実態調査
介護老人福祉施設の定員	介護サービス施設・事業所調査
介護老人保健施設の定員	介護サービス施設・事業所調査
介護療養型医療施設の定員	介護サービス施設・事業所調査
養護老人ホームの定員	社会福祉施設等調査
軽費老人ホームの定員	社会福祉施設等調査
老人保健の機能訓練指導人員	地域保健・老人保健事業報告
老人保健の訪問指導人員	地域保健・老人保健事業報告
日常生活の自立の状況	国民生活基礎調査
主な介護者の状況	国民生活基礎調査

表9. 医療分野における統計指標

統計指標	保健医療福祉統計
診療科別の医療施設数	医療施設調査
開設者別の医療施設数	医療施設調査
二次・三次救急病院数	医療施設調査
診療科別の病床数	医療施設調査
特殊診療設備（ICU、NICUなど）の病床数	医療施設調査
手術（悪性腫瘍、ペースメーカーなど）の件数	医療施設調査
在宅医療サービスの実施件数	医療施設調査
電子カルテシステムの導入状況	医療施設調査
ホームページの開設状況	医療施設調査
医療監視員による立入検査施設数	衛生行政報告例
医師数	医師・歯科医師・薬剤師調査
看護師数	衛生行政報告例
医療費	国民医療費
傷病別の患者数	患者調査
流入・流出患者数	患者調査
紹介患者の割合	患者調査
平均在院日数	病院報告
病床利用率	病院報告
患者の治療の満足度	受療行動調査
患者の医療施設の選択理由	受療行動調査

表10. その他の分野における統計指標

統計指標	保健医療福祉統計
保健所・市区町村などの保健師数	衛生行政報告例
保健所での連絡調整会議の開催・参加回数	地域保健・老人保健事業報告
保健所による市町村職員の研修実施の参加人員	地域保健・老人保健事業報告
保健所による調査・研究数	地域保健・老人保健事業報告
身体障害児・者数	身体障害児・者実態調査
身体障害児・者への補装具交付件数	福祉行政報告例
知的障害児・者数	知的障害児（者）基礎調査
知的障害者更正相談所の取扱人員	福祉行政報告例
障害児・者関係施設の定員	社会福祉施設等調査
障害者居宅支援事業所数	社会福祉施設等調査
食中毒事件数	食中毒統計
細菌学的・食品衛生関係・臨床学的検査件数	地域保健・老人保健事業報告
水質・環境公害関係検査件数	地域保健・老人保健事業報告
環境衛生の監視指導施設数	地域保健・老人保健事業報告
給食施設への指導・監督件数	衛生行政報告例
食品関係営業施設の調査・監督指導施設数	衛生行政報告例
生活衛生関係施設の指導施設数	衛生行政報告例
医薬品営業施設の薬事監視立入検査施設数	衛生行政報告例

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社 名	出版地	出版年	ページ
	なし						

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
	なし				

研究成果の刊行物・別刷

なし。

地域保健医療福祉の取り組みの評価における 統計指標の利用に関する調査

平成18年度厚生労働科学研究費補助金（統計情報総合研究事業）
「統計情報を用い保健医療福祉分野ごとに施策評価について
具体的に应用可能な指標パッケージの開発に関する研究班」

保健医療福祉において、既存の統計資料から多種多様な統計指標が得られ、その中には実態や対策実施状況を表すものがあります。地域保健医療福祉の取り組みの評価にあたっては、重要な統計指標を選定し、それらを利用することが大切と考えられます。

問1～問8は個々の統計指標の重要性に関する質問です。統計指標は適切な分母で除され、必要に応じて年齢調整されると考えて下さい。問9～問11は統計指標の利用に関係する質問です。なお、回答は全体で集計し、調査目的以外に使いません。集計の終了後に結果をお返しします。

問1. 母子保健分野の取り組みの評価にあたって、実態と対策実施状況を表す統計指標ごとに、あなたがとくに重要とお考えの統計指標に○を付けて下さい（○は複数可）。

実態を表す統計指標	対策実施状況を表す統計指標
1. 乳児死亡率 2. 新生児死亡率 3. 早期新生児死亡率 4. 自然死産率 5. 人工死産率 6. 周産期死亡率 7. 妊産婦死亡率 8. 合計特殊出生率 9. 低体重児割合 10. 人工妊娠中絶実施率	1. 妊娠届出数 2. 妊産婦健康診査受診人員 3. 乳幼児健康診査受診人員 4. 妊産婦保健指導人員 5. 乳幼児保健指導人員 6. 妊産婦訪問指導人員 7. 乳幼児訪問指導人員 8. 療育指導人員 9. 長期療養児相談指導人員 10. 児童相談所の相談処理件数
その他 [具体的に:]	

問2. 健康増進分野の取り組みの評価にあたって、実態と対策実施状況を表す統計指標ごとに、あなたがとくに重要とお考えの統計指標に○を付けて下さい（○は複数可）。

実態を表す統計指標	対策実施状況を表す統計指標
1. 自覚的健康感 2. 悩み・ストレスの状況 3. 栄養摂取量（食塩摂取量など） 4. 食習慣（欠食など） 5. 運動習慣 6. 休養の状況 7. 睡眠時間 8. 喫煙習慣 9. 飲酒習慣 10. 肥満者割合	1. 健康手帳交付件数 2. 個別健康教育参加人員 3. 集団健康教育参加人員 4. 健康相談指導人員 5. 栄養指導人員 6. 運動指導人員 7. 休養指導人員 8. 禁煙指導人員
その他 [具体的に:]	

裏面に続く

問3. 疾病対策分野（生活習慣病）の取り組みの評価にあたって、実態と対策実施状況を表す統計指標ごとに、あなたがとくに重要とお考えの統計指標に○を付けて下さい（○は複数可）。

実態を表す統計指標	対策実施状況を表す統計指標
1. 悪性新生物の死亡率 2. 虚血性心疾患の死亡率 3. 脳血管疾患の死亡率 4. 高血圧の受療率 5. 糖尿病の受療率 6. 高脂血症の受療率 7. 悪性新生物の受療率 8. 虚血性心疾患の受療率 9. 脳血管疾患の受療率 10. 高血圧の有病率 11. 糖尿病の有病率	1. 基本健康診査の受診率 2. 基本健康診査受診者の健康度評価事業実施割合 3. 基本健康診査受診者の生活習慣改善指導割合 4. がん検診の受診率 5. がん検診の精密検査受診率 6. 健康診断（職域を含む）の受診率 7. 健康診断（職域を含む）の未受診理由
その他〔具体的に： 〕	

問4. 疾病対策分野（感染症、結核、エイズ）の取り組みの評価にあたって、あなたがとくに重要とお考えの統計指標に○を付けて下さい（○は複数可）。

感染症	結核
1. 腸管出血性大腸菌感染症の患者数 2. マラリアなどの4類感染症の患者数 3. インフルエンザなどの5類感染症の患者数 4. 麻疹などの予防接種率	1. 結核の死亡率 2. 結核の罹患率（新登録者数） 3. 結核の有病率（登録者数） 4. 結核健康診断の受診率 5. 結核健康診断の新患者発見率 6. BCG接種率 7. 結核予防の相談・訪問指導人員
エイズ	
1. エイズの患者数 2. エイズ相談件数 3. HIV検査件数	
その他〔具体的に： 〕	

問5. 特定疾患、精神保健福祉、歯科保健分野の取り組みの評価にあたって、あなたがとくに重要とお考えの統計指標に○を付けて下さい（○は複数可）。

特定疾患	精神保健福祉
1. 特定疾患（難病）医療受給証の所持者数 2. 特定疾患（難病）登録者証の所持者数 3. 難病相談の指導人員 4. 難病患者・家族の学習会の参加人員	1. 精神障害の受療率 2. 精神障害者の申請通報届出件数 3. 精神障害者の医療保護入院届出数 4. 精神保健福祉の相談指導人員 5. 精神保健福祉の訪問指導人員 6. 精神保健福祉の普及啓発の参加人員 7. 精神保健福祉センターの技術指導援助件数
歯科保健	
1. 歯科健診・保健指導の受診人員 2. 歯科予防処置の受診人員 3. 歯周疾患検診の受診率	
その他〔具体的に： 〕	

問6. 高齢者保健福祉分野の取り組みの評価にあたって、
あなたがとくに重要とお考えの統計指標に○を付けて下さい（○は複数可）。

1. 介護保険の第1号被保険者数	11. 介護老人福祉施設の定員
2. 介護保険の要介護認定者数	12. 介護老人保健施設の定員
3. 介護保険の居宅サービス利用者数	13. 介護療養型医療施設の定員
4. 介護保険の施設サービス利用者数	14. 養護老人ホームの定員
5. 介護保険のサービス受給額	15. 軽費老人ホームの定員
6. 介護保険の居宅サービスの平均利用率	16. 老人保健の機能訓練指導人員
7. 訪問看護サービス利用者数	17. 老人保健の訪問指導人員
8. 通所介護サービス利用者数	18. 日常生活の自立の状況
9. 通所リハビリテーション利用者数	19. 主な介護者の状況
10. 短期入所生活介護サービス利用者数	
その他【具体的に： 】	

問7. 医療分野の取り組みの評価にあたって、
あなたがとくに重要とお考えの統計指標に○を付けて下さい（○は複数可）。

1. 診療科別の医療施設数	11. 医師数
2. 開設者別の医療施設数	12. 看護師数
3. 二次・三次救急病院数	13. 医療費
4. 診療科別の病床数	14. 傷病別の患者数
5. 特殊診療設備（ICU、NICUなど）の病床数	15. 流入・流出患者数
6. 手術（悪性腫瘍、ペースメーカーなど）の件数	16. 紹介患者の割合
7. 在宅医療サービスの実施件数	17. 平均在院日数
8. 電子カルテシステム導入状況	18. 病床利用率
9. ホームページ開設状況	19. 患者の治療の満足度
10. 医療監視員による立入検査施設数	20. 患者の医療施設の選択理由
その他【具体的に： 】	

問8. その他の分野の取り組みの評価にあたって、
あなたがとくに重要とお考えの統計指標に○を付けて下さい（○は複数可）。

1. 保健所・市区町村などの保健師数	11. 食中毒事件数
2. 保健所の連絡調整会議の開催・参加回数	12. 細菌学的・食品衛生関係・臨床学的 検査件数
3. 保健所による市町村職員研修の参加人員	13. 水質・環境公害関係検査件数
4. 保健所による調査・研究数	14. 環境衛生の監視指導施設数
5. 身体障害児・者数	15. 給食施設への指導・監督件数
6. 身体障害児・者への補装具交付件数	16. 食品関係営業施設の調査監督指導施設数
7. 知的障害児・者数	17. 生活衛生関係施設の指導施設数
8. 知的障害者更正相談所の取扱人員	18. 医薬品営業施設の薬事監視立入検査 施設数
9. 障害児・者関係施設の定員	
10. 障害者居宅支援事業所数	
その他【具体的に： 】	

裏面に続く。

問9. 地域保健医療福祉の取り組みの評価に、統計指標を利用するにあたって、以下の事項の重要性について、1~4のいずれかに○を付けて下さい。

年次間の比較	1. きわめて重要	2. 重要	3. あまり重要でない	4. 重要でない
地域間の比較	1. きわめて重要	2. 重要	3. あまり重要でない	4. 重要でない
人口の規模の考慮	1. きわめて重要	2. 重要	3. あまり重要でない	4. 重要でない
人口の高齢化の考慮	1. きわめて重要	2. 重要	3. あまり重要でない	4. 重要でない
情報の入手の容易さ	1. きわめて重要	2. 重要	3. あまり重要でない	4. 重要でない
意味の理解の容易さ	1. きわめて重要	2. 重要	3. あまり重要でない	4. 重要でない

問10. 地域保健医療福祉の取り組みの評価に、統計指標を利用するにあたって、以下の分野で主に必要となる地域区分について、1~3のいずれかに○を付けて下さい。

母子保健分野	1. 都道府県・政令市	2. 保健所・二次医療圏	3. 市区町村
健康増進分野	1. 都道府県・政令市	2. 保健所・二次医療圏	3. 市区町村
疾病対策分野（生活習慣病）	1. 都道府県・政令市	2. 保健所・二次医療圏	3. 市区町村
疾病対策分野（感染症など）	1. 都道府県・政令市	2. 保健所・二次医療圏	3. 市区町村
特定疾患の分野	1. 都道府県・政令市	2. 保健所・二次医療圏	3. 市区町村
精神保健福祉の分野	1. 都道府県・政令市	2. 保健所・二次医療圏	3. 市区町村
歯科保健の分野	1. 都道府県・政令市	2. 保健所・二次医療圏	3. 市区町村
高齢者保健福祉分野	1. 都道府県・政令市	2. 保健所・二次医療圏	3. 市区町村
医療分野	1. 都道府県・政令市	2. 保健所・二次医療圏	3. 市区町村
その他の分野	1. 都道府県・政令市	2. 保健所・二次医療圏	3. 市区町村

問11. 地域保健医療福祉の取り組みの評価に統計指標を利用するにあたって、重要な統計指標、利用者からみて使いやすい統計情報の提供のあり方などについて、ご意見がありましたら記入して下さい。

この調査票に記入いただいた方にお尋ねします。

あなたの職名： []

職種： []

（複数の方が調査票に記入された場合は、主に記入された方のものを記入して下さい）

以上で質問は終了です。同封の返信用封筒に入れて、投函して下さい。
ご協力ありがとうございました。